

Catch the WAVES!

新潟県立佐渡中等教育学校

学校だより 令和5年度 1月号①

HP: <http://www.sado-ss.nein.ed.jp>

冬休み明け 全校集会 校長講話 令和6年1月9日

皆さん新年明けましておめでとうございます。元日夕方に発生した、令和6年能登半島地震では、石川県をはじめ富山、新潟など甚大な被害に見舞われました。皆さんの中にも被災して避難した御家庭もあったと思います。当日私は長岡にいましたが、平成16(2004)年の中越地震を超える大きな揺れだと体感しました。亡くなられた多くの方々の御冥福と行方不明者の救出・発見をお祈りするとともに、皆さんの御家庭を含め、被災された方々に謹んでお見舞い申し上げます。

本校は小体育館が臨時的に避難所となり、30人近くが避難に来られました。発生後から深夜未明まで、率先して対応に当たった近隣在住の教職員の皆さんにも感謝します。大きな被害は2号館で、4階上部の貯水槽、水道管の亀裂で、階下まで漏水し浸水、一部電気が使えない状況となっています。その他、図書館の本棚転倒・書籍落下、芸術教室をはじめ理科・家庭科教室等の機材・備品等が落下、破損している状態で立入禁止です。普通教室がある1号館、ランチルームのある3号館も一部、落下物等がありましたが、6日土曜日には予定通り、入学者選抜検査が実施されました。この大体育館も天井からいくつもの破片が落下してきましたが、本日、こうして全校集会ができるのは、連休中のバスケットボール部員の後片付けのおかげです。ありがとうございました。今後、安全に留意し、必要に応じて復旧作業の協力をお願いします。



近年の海、佐渡の魚にも異変が起きていることは皆さんも御存知でしょう。様々なプラスチックゴミが海を汚していること、それに気づきながら改善されないこと、経済最優先のただ儲ければ良いという人間の生き様に対して、まるで地球や海の神がお怒りのようであり、愚かな人間の傲慢さへの警鐘に違いありません。



また、学校から安否や被害状況確認のメールを各家庭に送信しましたが、未回答の御家庭もありました。メール内容に双方の認識のズレもあたり、冬休みも重なったりして即安否が把握できませんでした。学校として皆さんの命と安全確保に努めています。課題を精査し緊急時にどう対応するか真剣に考えていきましょう。

さて、年末の全校集会の講話を覚えていますか。イソップ童話『アリとキリギリス』、『うさぎとかめ』を例として、古川武士著『性格4タイプ別 習慣術』を参考に、年内のうちに自分の日ごろの言動、習慣を振り返り、新年好スタートが切れる準備ができるよう、話をしました。一人一人が生活習慣を振り返り、今年にかける目標を立てましたか。



立てた目標の実現は、容易ではないかもしれませんが、人間は習慣の生き物です。習慣化すると案外、容易にできるものです。まずは1週間、次に1ヶ月と、継続してみたいと思います。

6年生は、今週末、大学入学共通テストですね。調子はいかがですか。在校生はもちろん、私たちも生徒玄関にメッセージを寄せ声援を送ります。まずはベストを尽くし、その後の進路決定、3月上旬の卒業証書授与式等、有終の美をどう飾っていくか。そして、4月からどういう覚悟で臨むのかを考えなければなりません。



5年生以下にとっても、2学期後半は実質2ヶ月もありません。新学年の0学期としてとらえ、自分の進路を決めたり、目標をより明確にしたりする大切な年となります。自分の将来を真剣に考えていきましょう。

1年生は間もなく後輩が入学してきます。今年はいよいよ2年生です。先輩として後輩を引っ張り活躍すべき年です。自覚を十分に持ってほしいと願っています。

コロナが収束し、新年早々大きな地震もありましたが、新年に当たり、今日は「試練への臨み方」について、話をしたいと思います。

ある年、非常に暖冬で、平均気温が例年を上回ったのですが、桜の開花は例年より、約20日も遅くなりました。普通、暖冬であれば桜の開花も当然早まると思いますが、実際は逆でした。

桜の芽は11月頃までにできあがり休眠していますが、冬の寒さに遭って休眠から覚め、暖かい日が続くと開花プロセスが動き出します。したがって、暖かいだけの冬は桜には好ましくありません。寒い冬があってこそ桜は、見事に咲くことができるのです。

また、生物にとって「最高条件」と『最適条件』は違います。ある生物集団にとって、最高に整った環境は、集団の最大限の発展をもたらしますが、その後は必ず急速な衰退がやってきます。

食物連鎖や生態系を考えてみれば、容易に想像できることだろうと思います。むしろ、「最高条件」の手前の、やや不十分な環境条件が、生物にとっての『最適条件』です。

さらに、ワイン造りのためのブドウ栽培においても栄養が豊富で肥沃な土地より、痩せた不毛の土地の方が地中に根を深く張り巡らせるため、ある程度のストレスがある方が最適だと言われています。

これは、私たち人間にも当てはまることではないかと考えます。人生において、その時々試練や苦境に立ち向かい、堪え忍び、乗り切った者が見事な花を咲かせることができます。楽で面白いだけの日々でなく、試練や苦境の時があるからこそ、自らを鍛え、成長することができます。順境をどう生きるかではなく、苦境をどのように克服するかということが、その人の真価を問う大きなポイントになると思います。

そう考えれば、降りかかってくる試練や苦境をただ憂うのではなく、状況を落ち着いて受けとめ、積極的に立ち向かう方がベターではないでしょうか。



そして、試練に立ち向かって行動すれば、成功のチャンスも大きいですし、たとえ失敗したとしてもそれによって強いメンタルを養うことができます。失敗も試練によく挑戦する者だけに与えられた特権です。特に、若い時期は、ちょうどトレーニングで筋肉に負荷を与えて筋肉の増強を図るように、失敗という負荷を与えて強い心が養われます。試練に立ち向かって行動し、失敗した時は失敗に学び、活かす心さえあれば、人生によりよく適応できるのではないのでしょうか。

どうせ乗り越えていかなければならないのなら、いかに前向きに考え、迫ってくる状況にしっかりと向き合うかが重要なことです。

そうすれば、大概のことは、乗り切ることができ、自分の成長につながっていくことになると思います。皆さん一人一人が、大いに成長できる2学期末、今年1年となるように願っています。新たな気持ちでサポートしていきましょう。

今日は新年のスタートに際して、年末の宿題、イソップ童話『アリとキリギリス』、『うさぎとかめ』を例として、自分の日ごろの言動、習慣を振り返り、今年にかける目標を立てたかどうかの確認、そして、「試練への臨み方」について、話をしました。

今年辰年、昇り龍のように飛躍し、輝かしい素晴らしい1年となるよう、明るく元気に歩いていきましょう。皆さんの健闘、大願成就を祈っています。



